

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(18年7月分)

1. 調査実施期間 平成18年 6月20日 ～7月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

7月分の回答企業数は38社、回収率は66.7%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		18/7月	8月	9月
仕入動向	国産材	3.4	△ 15.5	5.4
	外材	△ 13.2	△ 11.8	0.0
販売動向	国産材	△ 12.1	△ 19.0	1.8
	外材	△ 9.7	△ 8.3	8.6
在庫動向	国産材	△ 14.3	△ 10.7	△ 9.3
	外材	△ 12.5	△ 11.1	△ 8.6

仕入れは、国産材が7月の若干のプラスから、8月はややマイナスに転じたが、9月には若干のプラスに回復。外材は、7、8月とマイナスだったが9月には±0と回復。

販売は、国産材、外材とも7、8月はマイナス基調だが、9月はややプラスに転じている。

在庫は、国産材、外材ともマイナス基調が続いている。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品 目	18/7月	8月	9月
スギ正角(グリーン)	△ 2.1	0.0	0.0
スギ正角(KD)	0.0	6.5	6.8
ヒノキ正角	4.0	2.0	6.3
ヒノキ土台角	10.9	2.2	6.8
米ツガ正角(現地挽)	26.1	13.0	8.7
米ツガ防腐土台角	14.0	8.0	8.3
米ツガ割物(現地挽)	25.0	12.5	8.3
米マツ平角	25.0	14.6	15.2
北洋アカマツタルキ(現地挽)	28.0	26.0	18.8
ホワイトウッド集成管柱	36.0	20.0	14.6
レッドウッド集成平角	37.0	26.1	25.0
型枠合板(国産)	69.4	50.0	32.4
型枠合板(輸入)	64.3	47.6	35.0
針葉樹合板	57.5	40.0	26.3

先行き8、9月はスギ正角(グリーン材)を除き各品目ともプラス基調である。特に7月はレッドウッド集成平角、ホワイトウッド集成管柱、北洋アカマツタルキ、米ツガ正角・割物、米マツ平角のプラス幅が大きいが、先行きのプラス幅は縮小傾向。

合板は型枠(国産、輸入)、針葉樹合板とも7月は極めて大きなプラスになっていることが特筆される。先行きのプラス幅は縮小しているものの依然として強い。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

2006年7月24日発行

1. 荷動き

単位:%

品 目			18/7月	8月	9月
仕入動向	国産材	増加	3.4	0.0	0.0
		やや増加	6.9	0.0	17.9
		横ばい	65.5	72.4	75.0
		やや減少	24.1	24.1	7.1
		減少	0.0	3.4	0.0
	外 材	増加	2.9	0.0	3.0
		やや増加	8.8	8.8	9.1
		横ばい	52.9	64.7	75.8
		やや減少	29.4	20.6	9.1
		減少	5.9	5.9	3.0
販売動向	国産材	増加	3.4	0.0	0.0
		やや増加	6.9	0.0	17.9
		横ばい	51.7	65.5	67.9
		やや減少	37.9	31.0	14.3
		減少	0.0	3.4	0.0
	外 材	増加	2.8	0.0	2.9
		やや増加	11.1	5.6	22.9
		横ばい	52.8	75.0	62.9
		やや減少	30.6	16.7	11.4
		減少	2.8	2.8	0.0
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	3.6	3.6	3.7
		横ばい	64.3	71.4	74.1
		やや減少	32.1	25.0	22.2
		減少	0.0	0.0	0.0
	外 材	増加	2.8	0.0	0.0
		やや増加	8.3	8.3	5.7
		横ばい	52.8	63.9	74.3
		やや減少	33.3	25.0	17.1
		減少	2.8	2.8	2.9

品 目		18/7月	8月	9月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	56.5	30.4	21.7
	横ばい	39.1	65.2	73.9
	やや下落	4.3	4.3	4.3
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	28.0	16.0	16.7
	横ばい	72.0	84.0	83.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	50.0	25.0	16.7
	横ばい	50.0	75.0	83.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	4.2	4.3
	やや上昇	50.0	25.0	21.7
	横ばい	50.0	66.7	73.9
	やや下落	0.0	4.2	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	56.0	56.0	37.5
	横ばい	44.0	40.0	62.5
	やや下落	0.0	4.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	4.0	0.0	0.0
	やや上昇	68.0	48.0	37.5
	横ばい	24.0	48.0	58.3
	やや下落	4.0	0.0	0.0
	下落	0.0	4.0	4.2
レッドウッド 集成平角	上昇	4.3	0.0	0.0
	やや上昇	65.2	52.2	50.0
	横ばい	30.4	47.8	50.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	38.9	5.6	5.9
	やや上昇	61.1	88.9	52.9
	横ばい	0.0	5.6	41.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	38.1	9.5	10.0
	やや上昇	52.4	76.2	50.0
	横ばい	9.5	14.3	40.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	25.0	5.0	5.3
	やや上昇	65.0	70.0	42.1
	横ばい	10.0	25.0	52.6
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

2. 価格動向

品 目		18/7月	8月	9月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	4.2	4.3
	横ばい	95.8	91.7	91.3
	やや下落	4.2	4.2	4.3
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	13.0	13.6
	横ばい	100.0	87.0	86.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	8.0	4.0	12.5
	横ばい	92.0	96.0	87.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	21.7	4.3	13.6
	横ばい	78.3	95.7	86.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ一般材丸太では、港湾大手製材会社が現地で積極的に丸太買いを進めていることから、問屋は価格も含めて益々配船が困難となって来ている。(東京:問屋)
- ロシアからのアカマツ、シロマツ良質材の入荷減少から価格は上昇。国内販売価格に転嫁しづらく内外差開く一方である。(東京:問屋)
- 米マツ小割 品物薄グリーン・KDとも7月に値上がり感あり。国産材はヒノキ・スギともに低迷。(東京:問屋)
- 合板に引っぱられ外材も値を上げるのかと、顧客の方から聞かれるが、梅雨真盛りのため値も荷物も動きなし。値上げに敏感である。(東京:問屋)
- 益々二極化が進む。後半、不祥事懸念。(東京:問屋)
- 全く打つ手なし。役物に関しては値崩れが起きている始末である。(東京:問屋)
- 川上は強含みながら問屋、小売では単価は保合いがいっぱいです。(東京:問屋)
- コストアップによる販売価格の強唱えも腰抜け気味。梅雨明けに期待。(東京:問屋)
- とうとうホワイトウッドにも不足するサイズが出始めた。米マツもほとんど入荷がないため内地製材に頼らざるを得ない。(東海:問屋)
- 現状で荷が動けば極端な品薄と天井知らずの値上がりで、商い続行不能になる恐れあり。このままでは売れ行き不振で続行不能の恐れあり。(東京:仲買小売)
- 今月は仕事が少ないので仕入れを控えていたら、合板関係が急速に値上がりし、又品不足になってしまった。夏休み以降の仕事に納期が間に合わないか、値段が合わないかのどちらかになりそうだ。(東京:仲買小売)
- 仕入れ価格上昇のみに目を奪われているが、荷動きが悪い状況下、上昇分を全て販売価格に転嫁できず利益率の圧縮という最悪のパターン。旧来からの在庫品を高値で販売し、幾らかカバーしている状況。(東京:仲買小売)
- 合板は買うたびに1割上がっている。針葉樹合板は値上がりがそれ程でもないのに、お客さんに薦めているが使わず。売上げも6、7月と非常に悪い。(東京:仲買小売)
- 合板類はホームセンターから仕入れた方が安いとは……。 (東京:仲買小売)
- 需要は低迷しているのに、特に合板価格が玉不足とのことで高騰している。今の市況から考えると、更なる在庫の上積みは考えるところです。(東海:仲買小売)
- 輸入合板の荷動きが悪いのに価格の高騰で商売が難しいです。コンパネは品薄の状態。(東海:仲買小売)